

こんにちは 野々市市議会です



議場コンサート

市音楽文化協会の協力で初開催

| | |
|-------------------|-------|
| 3月定例会議案審議・議決結果一覧 | ……2P |
| 各委員会の主な質問と答弁・視察報告 | ……3P |
| 3月定例会代表質問 2会派 | ……4P |
| 3月定例会一般質問 6人 | ……6P |
| 6月定例会日程 | ……12P |

令和8年度一般会計予算総額 前年度当初比3.3%増 258.8億円 3年連続過去最大更新 市税収入が5年連続更新し92億円超を見込むも、施設改修をはじめ歳出も増加し過去最大となる



令和8年第1回3月定例会は、2月20日から3月19日まで開かれました。3月定例会では、令和8年度一般会計及び特別会計の当初予算をはじめ議案24件が上程されました。一般会計当初予算のうち歳入では、市税においては昨年に引き続き所得上昇による個人市民税の増や、地価高騰による固定資産税増として5年連続の過去最大となる92.4億円を見込み、歳出では福祉複合施設つばきの杜のいち整備事業をはじめ公共施設個別施設計画に基づく改修事業を見込んでいます。

令和7年度一般会計補正予算 1人あたり1万円の商品券の配布を予定する

のいち生活支援商品券配布事業として、市内の店舗などで利用できる商品券の配布を行う予定としています。なお、市長提出議案24件を全会一致または賛成多数にて、可決・承認・同意しました。

議決結果一覧

○=賛成、×=反対
※所属会派は議決時点での会派を記載しています。
※会派等の名称：市民の会（のいち市民の会）、共（日本共産党）、令（令和清米）、無（無名）、公（公明）、議（議長）、副（副議長）

| 番号 | 件名 | 議決日 | 議決結果 | 議員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|---|-------|------|----------|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 野々市フォーラム | 市民の会 | 共 | 令 | 無 | 公 | 議 | 副 | 三 | 田 | 畠 | 小 | 北 | 中 | 中 | 西 | 梅 | 岩 | 西 | 朝 | 木 | 議 | 副 | |
| | | | | 納 | 中 | 中 | 堀 | 堀 | 村 | 村 | 村 | 野 | 見 | 本 | 倉 | 倉 | 倉 | 倉 | 倉 | 倉 | 倉 | 倉 | 倉 | 倉 | 倉 | 倉 | 倉 |
| 議案第1号 | 専決処分（令和7年度野々市市一般会計補正予算第5号）の承認について | 3月19日 | 承認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第2号 | 令和7年度野々市市一般会計補正予算（第6号）について | 2月20日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第3号 | 令和7年度野々市市一般会計補正予算（第7号）について | 3月19日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第4号 | 令和7年度野々市市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について | 3月19日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第5号 | 令和7年度野々市市介護保険特別会計補正予算（第2号）について | 3月19日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第6号 | 令和8年度野々市市一般会計予算について | 3月19日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第7号 | 令和8年度野々市市国民健康保険特別会計予算について | 3月19日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第8号 | 令和8年度野々市市後期高齢者医療特別会計予算について | 3月19日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第9号 | 令和8年度野々市市介護保険特別会計予算について | 3月19日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第10号 | 令和8年度野々市市水道事業会計予算について | 3月19日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第11号 | 令和8年度野々市市公共下水道事業会計予算について | 3月19日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第12号 | 野々市市行政手続条例の一部を改正する条例について | 3月19日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第13号 | 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について | 3月19日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第14号 | 野々市市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について | 3月19日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第15号 | 野々市市体育施設条例の一部を改正する条例について | 3月19日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第16号 | 野々市市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について | 3月19日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第17号 | 野々市市介護保険条例の一部を改正する条例について | 3月19日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第18号 | 野々市市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例について | 3月19日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第19号 | 野々市市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例について | 3月19日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第20号 | 工事請負契約の締結について | 3月19日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第21号 | 市道路線の廃止について | 3月19日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第22号 | 市道路線の認定について | 3月19日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第23号 | 野々市市固定資産評価審査委員会 委員の選任につき同意を求めることについて | 2月20日 | 同意 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第24号 | 工事請負契約の締結について | 3月19日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

各委員会の主な質問と答弁

予算決算・総務産業・教育福祉常任委員会

2月20・3月6・9・10・11・17・19日の7日間

Q ふるさと納税推進事業の予算編成の根拠は。また、本市への寄附が好調である要因は何か。

A 今年度の寄附実績が当初予算より増加したことを受け、来年度も同規模の寄附確保を見込み予算化している。好調の要因は、震災復興支援としての需要に加え、カリーやジェラートなど市の名産品が寄附獲得の大きな原動力となっている。

Q ののいち生活支援商品券配布事業について、事業者の公募と参加店の募集の具体的な事業スキームを伺う。

A 事業者の公募については商工会に委託して行う。募集の条件は商工会に加入していることであるが、本事業への参入を希望する未加入業者については、随時新規加入を受け付けることで対応する。

Q 市の小型除雪機の貸し出しを受けて除雪した町内会の数は。

A 市の機械貸与により町内会のは1町内会で、町内会独自の除雪による申請は現時点で10町内会である。自助・共助による町内会の皆様のご協力は非常に心強く、市としても引き続き支援を行っていく。

Q 「コミュニティバス」の「ティ」のキャッシュレス決済の導入時期は。

A 今年の冬頃を目途に整備を進めていく。

Q デジタル技術を活用したい。心理アンケートはどのように活用されるか。

A アンケートを教員の「見取り」の1つの手段として活用しつつ、対面での対話と教職員間や専門職との徹底した情報共有を重視する。

視察報告（◎は委員長、○は副委員長）

議会運営委員会

日程：1月19日から21日まで
参加者：◎北村、○小堀、西村、畠中、中村義彦、安原

愛知県名古屋市長会：広報動画・学生アンバサダー制度について

令和7年度に主権者教育の推進及び市会広報の多角化の観点から、若者の視点を活かした広報動画を制作・発信されていた。愛知県半田市議会：議会運営及び議会改革の取組について

半田市議会では、令和5年度以降において「議会報告会」を開催しない事としています。その主な理由として、参加者の減少及び固定化・議会報告会を開くことが目的になっていないか、議会広報とはどうあるべきか、という事でした。一方で本会議の動画配信チャンネル登録者数は320人という事でした。愛知県大府市議会：議会運営及び議会活性化の取組について

大府市議会では、音声認識会議録作成支援システムの付属機能の活用により、令和7年9月から本会議・委員会での「字幕表示サービス」の提供を開始さ

れました。委員会など、傍聴可能な会議の全てに対応しているため、今後検討の議論を踏まえたいと受け止めました。愛知県清須市議会：議会運営上の申し合わせ事項について

清須市議会運営委員会では、議会のみで開催する場合を除き、当局側として市長・副市長・総務部長・企画部長の4名が原則出席致します。一方、本市の議会運営委員会では総務部長・総務課長の2名です。今後は必要に応じて市長・副市長の出席を求め、議事検討協議していきたいと受け止めました。また一般質問において、議長・副議長・監査委員はその立場及び運営上、質問を行わないとされています。本市では各議員・各会派の判断に委ねられています。





西村 雅博 議員
(のいち市民の会)

町から市政移行して15年経過した、その間を振り返った市長の思いを聞く。

決して平坦ではなかった。この経験を、未来を担う世代の可能性として、地域の力へとつないで行く。

Q 各施策における物価高対策と見込まれる効果について、市長の見解を伺う。

A 市長 ● 令和8年度に実施する物価高対策として市民一人当たり1万円の商品券を配布する。加えて、4月からは、小学校給食の完全無償化を実施、水道基本料金の無償化を4か月分実施する。物価高対策として、商品券による即効性のある家計支援と、給食無償化による持続的な負担軽減を組み合わせて、市民生活を重層的に支えて行く。

Q 計画策定から5年経過した。その進捗状況について市長の見解を伺う。

A 市長 ● 本市の全公共施設67施設を対象として、4つに区分し、20の施設を「現状維持」、36の施設を「改善・改修」、9つの施設を「在り方の検討」、2つの施設を「廃止」に位置付けた。「廃止」は、1つを民間法人に譲渡し、残る1つも関係団体と協議を行っている。概ね、順調に進んでいる。

Q 市民が歩道除雪した雪の置場として、植樹帯に排雪し、道路まで影響し、交通渋滞が発生している。低木の除却伐採や入替え等、在り方について、市長の見解を伺う。

A 市長 ● 植樹帯のスペースを雪置場として利用することは、有効であると認識している。低木の植樹が本来果たすべき役割を十分に考慮し、植樹帯の利活用についても今後検討する。



代表質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、<https://youtu.be/PK8rJpBkg8>



北村 大助 議員
(野々市フォーラム)

市内4駅それぞれの特性を活かした活性化策について、方策を伺う。

「野々市工大前駅」は、コミュニティスペースの新設など、駅舎改良を予定している。

Q 当初予算編成について

Q 市内4駅の活性化策について、方策を伺う。

A 市長 ● 野々市駅は、多くの公共交通機関が乗り入れをされており、本市の玄関口としてアクセス性を最大限に活かすべき駅でございませう。目的となる駅を目指し、駅周辺イベント・市民の交流機会を増やすと共に、来訪者を呼び込み、活性化に努めてまいります。北陸鉄道における「野々市工大前駅」、「野々市駅」、「押野駅」の3駅は、通勤・通学など沿線住民の日常を支える駅です。「北陸鉄道線鉄道事業再構築実施計画」に基づき、現在キャッシュレス決済の導入や全駅における自転車持ち込みサービス「サイクルトレイン」導入など、利便性向上に取り組んでいる。また、「野々市工大前駅」については、学生の利用が多いことから、にぎわいのある駅環境の創出を目的とした、コミュニティスペースの新設など、駅舎改良を予定している。

Q 治水対策について伺う。

A 市長 ● 新年度は、野々市小学校周辺や稲荷二丁目地内における浸水対策計画の策定をはじめ、高橋町地内の雨水管渠整備や新庄一丁目地内の水路改良等、治水対策を強化してまいります。

Q 本市の「人口推計」について

Q 令和7年度市民意識調査の結果とそれを踏まえ、成果指標の中間年度となる、令和8年度は、どのような視点で見直しを行うのか、市長の見解を伺う。

A 市長 ● 毎年実施している「行政評価」から、進捗状況を客観的に把握する「行政評価の視点」と市民意識調査における満足度や重要度を基にした「市民評価の視点」である。二つの視点を基に、施策の成果と今後の課題・改善方針を整理しながら、見直しを進めて行く。



代表質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、<https://youtu.be/0rIhy3GHkF8>

Q 令和8年度予算編成について

Q 重点ポイントについて、どのような思いを込めた編成なのか市長の見解を伺う。

A 市長 ● 「まちの強靱化と、子ども・若者の活動支援の充実」に重きを置き、「まちとひとが強くなる」ための予算編成とした。自然災害の激甚化や社会経済環境の急速な変化が進む中、都市基盤の強靱化は、市民生活の安全を守るうえで不可欠である。また「まち」と「ひと」が相互に高め支え合う、基盤づくりを目指し持続的に発展する地域社会の実現に向け、私の思いを込めた。

Q 令和7年度市民意識調査の結果とそれを踏まえ、成果指標の中間年度となる、令和8年度は、どのような視点で見直しを行うのか、市長の見解を伺う。

A 市長 ● 毎年実施している「行政評価」から、進捗状況を客観的に把握する「行政評価の視点」と市民意識調査における満足度や重要度を基にした「市民評価の視点」である。二つの視点を基に、施策の成果と今後の課題・改善方針を整理しながら、見直しを進めて行く。

Q 令和7年度市民意識調査の結果とそれを踏まえ、成果指標の中間年度となる、令和8年度は、どのような視点で見直しを行うのか、市長の見解を伺う。

A 市長 ● 毎年実施している「行政評価」から、進捗状況を客観的に把握する「行政評価の視点」と市民意識調査における満足度や重要度を基にした「市民評価の視点」である。二つの視点を基に、施策の成果と今後の課題・改善方針を整理しながら、見直しを進めて行く。



代表質問のページは、各会派の責任により編集されています。



岩見 博 議員
(日本共産党)

金沢市は中学校給食無償化 2027 年度 実施を検討 残るは野々市市だけに

市長「国の責任において実施するよう 国へ要望していきたい」

野々市市の未来を担う子ども たちに投資を

Q 金沢市議会一般質問で、村山市長は、中学校の無償化について、「早期の実施が必要だ」と述べ、2027年度をめどに実施を検討すると大きく一歩前に踏み出した答弁をされている。そうなると残るは本市だけとなるが、野々市市の未来を担う子どもたちへの投資として捉え、中学校給食無償化に踏み出す考えはないか。(無償化に必要な予算は年約1億720万円)

A 市長 ● 国も課題の整理を行っている。国も責任において、実施するよう国へ要望していきたい。

Q 0歳児から2歳児の保育料無料化を
Q 経済的にも安心して子どもを産み育てることができ、社会であってこそ少子化対策になり、女性も働きやすい社会になる。0歳児から2歳児の保育料無料化を求める。

A 市長 ● 保育料を一律に無償化した場合、保育ニーズの増加で待機児童の発生につながる可能性がある。それに伴う保育士の確保、持続可能な財源の確保も大きな課題である。既に、自治体の財政力により、子育て支援策に差が生じているとの指摘もあり、こうしたことから、国において、制度設計と財政措置を講じるよう求めていきたい。

不登校対策 教育長「つらさや不安を抱 えている場合には、休養を」

Q 政府の不登校対策の「CO-COLOプラン」は、行き渋り傾向の子どもをあの手の手で登校させることに重点が置かれ、子どもの気持ちを尊重する対応が少なくない。不登校「当事者」ニーズ全国調査「多様な学びプロジェクト2023年」によれば、子どもが最も嫌だったことは、登校強制・登校刺激、望まぬ干渉・接触が44.7%となっている。子どもや保護者に向けて、つらいときには学校を休むことが必要だとメッセージを発信できないか。

A 市長 ● 画一的なメッセージを示すよりも、つらさや不安を抱えている場合は、無理に登校を求めるとはならず、まずは心身の安全と安心を確保することが重要であり、必要に応じて休養を取ることを選択肢の一つと認識している。

不登校対策 介護休業対象を不登校の家族 も適用に

Q 厚生労働省は介護休業の対象を引きこもりや不登校の状態にある対象家族にも適用できるように見直した。こうした国の動向を受け、本市でも企業への周知や職員への適用を進めていくことが求められるが、周知の取り組みについて伺う。

A 副市長 ● 市のホームページや商工会の会報誌などを通じて市内企業に広く周知したい。市職員についても、制度の趣旨をしっかりと周知していきたい。



木谷 直子 議員
(公明)

感震ブレーカー普及推進とあわせて 家庭用防災用品も補助金の対象とすべき

感震ブレーカーの普及面も踏まえ、家庭防災用品の 補助についても拡充に向けて検討を行ってほしい

プレコンセプションケアの推 進について

◆プレコンセプションケアとは
性別にかかわらず、若いうちから妊娠・出産を含めた将来のライフデザインを考えて、現在の日常生活や自身の健康に向き合うこと

Q プレコンセプションケアという概念を知り、知識を適切に身につけることは、自分らしいライフデザインを描き、満ち足りた生き方の実現のためにも重要である。本市でも推進に取り組むべきだ。

A 市長 ● 性や健康に関する正しい知識の普及は、将来にわたる市民の健康保持・増進の観点から大切な取り組みであると認識しており、健康施策の課題として位置づけ、広く周知を図っていく。

Q 個人差がある、卵巣に残っている卵子数の目安を知ることができる「AMH検査」は、将来の妊娠に備え、本市でも導入を検討すべきと考える。

A 健康福祉部長 ● 本市における「AMH検査」の導入は現時点では考えていない。将来の妊娠に

備え、ご夫婦の健康や生活習慣を見直すきっかけとなるためのプレ妊活健診を実施しており、その一層の周知に努めていく。

感震ブレーカーの普及と家庭用 防災用品に対する補助について

Q 感震ブレーカーの補助制度があるが、利用者が少ない。積極的に周知に取り組みとともに、県と市の両方に補助申請することを考え、市の手続きは簡略化すべきだ。

A 総務部長 ● R8年1月現在で、申請件数が7件であり、周知や啓発の方法について検討する。また、手続きについても申請される方の負担軽減になるよう見直しを行っていく。(補助制度は市HPを参照)

介護・福祉の人手不足対策

Q 本市の介護現場の状況をどのよう認識しているか。また、これまでの介護人材不足に対しての取り組みと成果を伺う。

A 健康福祉部長 ● 介護現場でサービスを提供していくための人材確保が課題となっている。県の補助事業により、移動支援や認知症高齢者の見守り支援のための介護

機器を導入している。また以前、県介護福祉士会と共に「ののいち介護ラボ」を開催し、イメージアップを図るなどの取り組みを行った。

Q デジタルプラットフォーム「スケットター」の活用による介護人材不足に対する取り組みについて、どのように評価されるか。

A 健康福祉部長 ● 介護職員が専門業務以外に担っている周辺業務を、有償ボランティアが代行することで、介護職員が本来の専門業務に注力する時間と環境の確保につながる。新しい取り組みであると受け止めている。

Q 市内事業所に対し「スケットター」を導入し、費用に対する補助を行い、各施設での活用を推進していくことを強く要望する。

A 市長 ● 訪問介護等のサービス提供体制の確保に向け、国の交付金も活用した、介護人材確保支援事業を一般会計補正予算案に盛り込み、今議会に上程している。「スケットター」の導入に関しては、まず県が実施する「介護未経験者等参入促進マッチング強化モデル事業」の評価について、事業者の評価も踏まえ検討していきたい。

A 教育長 ● 画一的なメッセージを示すよりも、つらさや不安を抱えている場合は、無理に登校を求めるとはならず、まずは心身の安全と安心を確保することが重要であり、必要に応じて休養を取ることを選択肢の一つと認識している。

一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけません。
PCからは、<https://youtu.be/t2PES4QeLak>



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけません。
PCからは、<https://youtu.be/6fq2hSW0BLE>



一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



梅野 智恵子 議員
(のいち市民の会)

本市体育施設整備において障害者 スポーツの環境整備への姿勢を問う

障害の有無を問わず、誰もが気軽に スポーツを体験できる環境整備が大切

Q ある方が安心してスポーツに親しめる環境づくりには、手話をはじめとするコミュニケーション支援が不可欠である。体育施設やスポーツイベントの場における手話等の人材配置や育成について考えを問う。

A 市長 ● 健康福祉部が実施する事業で試行的に取り組み、二丁ズを把握したうえで対象事業の拡大について検討したい。「手話言語・障害者コミュニケーション条例」の目的である障害のある人ない人分け隔てなく理解し合い、互いに一人ひとりの尊厳を大切に安心して暮らせるよう目指す。

Q デフスポーツの普及や障害のある方が安心してスポーツに親しめる環境づくりには、手話をはじめとするコミュニケーション支援が不可欠である。体育施設やスポーツイベントの場における手話等の人材配置や育成について考えを問う。

A 市長 ● 市のHP、SNS等に掲載することで認知向上、大会運営協力をしてきた。認知や理解促進を図ることで、誰一人取り残すことのない地域共生社会の実現を目指す。

Q デフリンピックの国内初開催という歴史的な機会を一度性で終わらせず、認知向上についてどのように取り組んでいくか。

A 市長 ● 市のHP、SNS等に掲載することで認知向上、大会運営協力をしてきた。認知や理解促進を図ることで、誰一人取り残すことのない地域共生社会の実現を目指す。

Q デフリンピックの国内初開催という歴史的な機会を一度性で終わらせず、認知向上についてどのように取り組んでいくか。

デフスポーツの普及と本市体育施設整備の在り方について

Q 野々市市総合防災訓練について
各拠点避難所の施設管理等については教育委員会が所管している。訓練の実施にあたり、教育委員会および学校職員はどのように関与し、情報共有や連携を図っているか問う。

A 副市長 ● 避難区防災会ごとに、防災倉庫の備蓄品の確認、訓練内容や当口の運営体制、また役割分担の整理について協議を行ってきた。訓練内容の確認や情報共有ということで連携している。

Q 児童生徒に対し、拠点避難所としての位置づけ、訓練実施について周知法、特に通学している学校と居住する町内会の拠点避難所が異なるケースがあるが、どのように整理し、情報提供を行っているのか。

A 副市長 ● 毎年校長会において市の防災訓練の実施についての周知を行っているほか、啓発チラシを各学校に配布し、校内に掲示をする形で啓発に努めている。周知については町内会での避難訓練などを通じて行っており、今年新たに工フエム石川と共同で「防災ハンド

Q 各拠点避難所の施設管理等については教育委員会が所管している。訓練の実施にあたり、教育委員会および学校職員はどのように関与し、情報共有や連携を図っているか問う。

A 副市長 ● 避難区防災会ごとに、防災倉庫の備蓄品の確認、訓練内容や当口の運営体制、また役割分担の整理について協議を行ってきた。訓練内容の確認や情報共有ということで連携している。

Q 児童生徒に対し、拠点避難所としての位置づけ、訓練実施について周知法、特に通学している学校と居住する町内会の拠点避難所が異なるケースがあるが、どのように整理し、情報提供を行っているのか。

A 副市長 ● 毎年校長会において市の防災訓練の実施についての周知を行っているほか、啓発チラシを各学校に配布し、校内に掲示をする形で啓発に努めている。周知については町内会での避難訓練などを通じて行っており、今年新たに工フエム石川と共同で「防災ハンド

Q 協議会設立をどのように受け止め、意義を感じているか。

A 市長 ● 白山野々市広域事務組合や白山石川医療企業団を構成し、消防業務やごみ処理、病院共同経営など、日ごろから緊密に連携し良好な関係である。それぞれの地域の課題共有が一層進むことが考えられ、行政としても大変心強く思っていると同時に、今後の活動に期待したいと思っている。

白山野々市市北議会議員協議会の意義と展望について

Q 総合防災訓練における子ども・若者の参加型の仕組みについて具体的な方策を検討していく考えはないか。

A 副市長 ● 各学校においては、年間を通じ4回から5回程度、火事や地震を想定した避難訓練を実施しており、日頃より防災教育にも力を入れて取り組んでいる。今後子ども会や自主防災組織と連携しながら、子どもや若者世代が主体的に参加できる仕組みづくりについて、さらに検討してまいりたい。

Q 総合防災訓練における子ども・若者の参加型の仕組みについて具体的な方策を検討していく考えはないか。

A 副市長 ● 各学校においては、年間を通じ4回から5回程度、火事や地震を想定した避難訓練を実施しており、日頃より防災教育にも力を入れて取り組んでいる。今後子ども会や自主防災組織と連携しながら、子どもや若者世代が主体的に参加できる仕組みづくりについて、さらに検討してまいりたい。

一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけません場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/zJ0g3hPk1nQ>



西本 政之 議員
(令和清栄)

歩行者の安全のため、歩道除雪を 充実せよ

機械の台数やオペレーターの確保などの 課題を整理し検討する

Q 今年1月の大雪は、未明から朝にかけて40センチ以上積もった。今回の市の除雪対応は比較的早かった印象だったが、歩道の除雪が不十分だという声を多くお聞きした。歩行者の安全確保のためにも、歩道除雪を充実できないものか。

A 市長 ● 歩道の除雪については、通学路を中心に実施し、車道に比べ幅が狭い歩道では、手押し式の小型除雪機を利用して除雪している。小型除雪機では、除雪完了まで多くの時間を要し、積雪深が増えると、更に時間が必要となる。今後、機械の台数やオペレーターの確保などの課題を整理しながら、さらなる歩道除雪路線の拡充の検討を進める。

奨学金返済支援について
Q 大学生への奨学金返済支援について詳細を伺うとともに、制度の拡大(期間・金額)を提案する。また、市内大学以外の大学卒業者が市内企業に就職した場合も支援すべきと考えるがいかがか。

A 市長 ● 本制度の支援額については、既に実施している県内市町を参考にし、1年度当たり

10万円、最大5年間の支援としたいと考えている。また、対象者については、本市からの若年層の市外流出を抑制、本市への定着を図ることを優先的に取り組むために、まずは、市内大学卒業生を対象として本事業を開始し、効果を見極めながら、今後さらに検討していきたい。

Q 保育士への奨学金返済支援などについて、年齢・金額・期間などの根拠と、制度の詳細を伺う。

A 市長 ● 全国的な保育士不足が大きな課題となる中、特に若年層の保育士の継続的な確保と職場定着を目的として、新年度から実施する。今回、制度の対象を公立保育園のみならず、法人保育園の保育士にも拡大したのは、地域全体で保育体制を維持し、さらなる質の向上を図るためである。対象年齢については、年度末の年齢を30歳未満とした。期間は、最長10年間としている。また、支援額については、年間最大20万円と設定した。今後も、子育てしやすい環境づくりに向け、実効性の高い施策の充実に努めていく。

石川県は令和8年度から、「孫守り休暇」を導入する予定となっている。職員のみならず、県内企業にも表彰制度をとるなど、積極的に導入を促している。本市においても導入すべきと考えるがいかがか。

孫守り休暇について

Q 石川県は令和8年度から、「孫守り休暇」を導入する予定となっている。職員のみならず、県内企業にも表彰制度をとるなど、積極的に導入を促している。本市においても導入すべきと考えるがいかがか。

A 市長 ● 石川県が4月に導入予定の「孫守り休暇」制度は、既存の「出産補助休暇」3日間と、「育児参加のための特別休暇」5日間を男性職員だけでなく、男女を問わず孫が生まれる職員にも拡充し、最大8日間取得できる制度と伺っている。この制度により、働く親が仕事と子育てを両立する中で、祖父母が孫を一時的に預かることにより、親の育児負担が軽減され、ワークライフバランスの改善にも寄与することが期待されている。本市では、現時点で孫守り休暇の需要が少ないと予想されるが、職員の定年延長に伴い、在職中に孫を持つ職員が増えることが見込まれるので、導入後の石川県の利用状況を見ながら、本市での導入について検討していきたいと考えている。

一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけません場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/wjWxENPTf2w>



一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



中村 和流 議員
(のいち市民の会)

市は、「こども食堂」を「地域づくり」の視点から、どう評価しているか

地域づくりに向けた活動を「高く評価」する。

Q ネットワークに参加している5つのこども食堂に対して、

本市こども食堂における世代間交流や、地域の孤立防止、困難を抱える方の見守りなど、地域づくりに向けた活動は、地域のセーフティネットの一翼を担うものとして高く評価するとともに、運営に携わる市民活動団体の皆様に深く感謝申し上げます。

A 市長 ● 「こども食堂」は現在では多様な地域づくりの取り組みとして展開されており、本市でも昨年設立された「野々市こども食堂ネットワーク」のもと、市内5カ所のこども食堂がそれぞれの特徴を生かしながら活動し、子どもを中心に高齢者や地域住民など多様な方々が自然に関わり合う大切な機会となっている。

Q こども食堂は全国に1万2601カ所(2025年調べ)あり、中学校数より多く、全国に広がり続けている。名称は、「こども食堂」ですが、実際には、地域づくり・多世代交流・地域の孤立防止の基盤となっている。市は「こども食堂」を、「こども支援」だけでなく、「地域づくり」の視点からどう評価しているか。



こども食堂(nono1 みんなの食堂)
紙芝居と食事

Q 立川市では、給食調理場を活用し、長期欠席児童に給食を提供することで、学校以外の「新しい居場所」をつくる取り組みが行われている。目標は3つ。

① 家の外に出るきっかけづくり。
② 家族以外の人と交流する機会をつくり、孤立化を防ぐ。
③ 学校給食を食べることを経験

A 市長 ● 本市はこれまでも包括連携協定を締結した企業と「フードドライブ」(家庭で使いきれない食品を持ち寄り、必要とする団体に届ける取り組み)を進め、各こども食堂の主体性を尊重した、本市による側面的支援の一環として実施している。今後こども食堂が運営しやすい環境づくりに努めていく。



給食調理場での給食
(提供：東京都立川市教育委員会)

Q 本市の市民活動センター登録団体の「ボランティア活動保険」の加入の実態や、本市主催の事業・イベントでの加入を把握しているか。未加入団体への案内・周知はどうするか。

A 地域政策部長 ● 「ボランティア活動保険」への加入を市として確認していない。活動は安心・安全のもとで持続して行うことが望ましいので、今後は団体の登録更新などの機会を捉えて、周知に努める。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、<https://youtu.be/jxk7YY7u42l>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



三納 昭博 議員
(野々市フォーラム)

生活弱者に対し「思いやりのごみ回収」を行えるよう市管理のごみ集積所を考えては

町内会が実情に応じて柔軟に集積所運営を行ってもらっている

「思いやり」のある「ごみ集積所の普及」について

Q 本町6丁目町内会が設置した「訪問介護事業者専用ごみ集積所」について、市の所感を。併せて、これまで市民からの要望はなかったか。

A 健康福祉部長 ● ごみ出しが困難な高齢者の担当ケアマネージャーから相談を受けた地域包括支援センターが町内会に相談を行い、市・民生委員・社会福祉協議会等の関係機関で協議を重ね、設置となった。

これまでも同様のケースがあり、都度町内会と協議を行って柔軟な対応を頂いており、このような取り組みが地域の創意で実現することを大変喜ばしく、頼もしく感じる。

Q 市が設置・管理をし、各地区にあるべきではと考えるが。

A 健康福祉部長 ● 町内会が地域の実情に応じて柔軟にごみ集積場を運営していることから、考えていない。

地域政策部長 ● 条例に基づき、ごみ集積場は地域住民が協働で設置・管理をいただいで、柔軟な対応を取

ていただいている。
「結ネット」やSNS等の活用について

Q 結ネットを市が利用する構想や計画を伺う。

A 市長 ● 広報紙の省資源化にあやめ町内会や丸木町会で取り組みをして頂いている。

デジタル回覧板を利用した高齢者の見守り、各種会議の出席確認、資料の掲載、防災訓練における安全確認など、先進事例を紹介しながら町内会役員の負担軽減に繋がるよう支援に努めたい。

Q 市では公式SNSを多種利用しているが、情報が均一ではないと思われるが。

A 市長 ● 「市SNS等運用方針」を定め運用している。

LINEでは、利用者が受信したい情報を選択できる。他の媒体では情報に特色を持たせており、生活事情等にあわせて選んでいただけたらと思う。

今後の活用については、市の周知

を進めることにより登録者数の増加を目指したい。市内の方々に本市に興味、関心を持ってもらえるよう、更に効果的な発信ができるよう努めたい。

Q 「住宅取得の促進」と「定住化の推進」を併せた施策を望むが市の所感や計画は。

また、既存の補助体制の拡充や固定資産の減税等、「プラスになった」と感じられる積極的な施策を行っていただきたいが。

A 市長 ● 定住化の推進のため、住宅補助制度の利用促進に限らず、教育、福祉、交通などの幅広い分野で連携していくことが重要であると考える。

建設部長 ● 「のいち環境きくばり住宅」制度については4月より助成額を引上げ、対象者の拡大を行う。
総務部長 ● 新たな補助制度に関しては、直接的な財政への影響があり、他のバランスなど、総合的に考える必要があるため慎重に検討する必要があると考えている。

し、小中学校の思い出を共有する。本市で行う際の課題を整理して市の見解を伺う。

A 教育部長 ● 本市の給食センターは、小中学校7校へ、安全・安心な給食を安定的に提供するための施設であり、児童生徒の居場所として活用することは難しい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、<https://youtu.be/GuugUE6cjXQ>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

野々市中央公園拡張整備事業についての提言書を市長に提出

令和8年3月19日、野々市中央公園拡張整備事業に関する特別委員会が作成した提言書を、栗市長に対して提出しました。

提言書の主な内容

- ① 事業手法の検討業務を令和8年度早期に実施すること
- ② 令和8年度において、以下の事業を早期・着実に実施すること
 - ・事業スキームの検討
 - ・実施方針の作成
- ③ 市役所内に全庁横断となるプロジェクトチームを創設すること
- ④ 本事業に対する市長としての考えと、明確な方向性を示していただきたい



議会報告会および意見交換会

富奥地区、押野地区を対象とした議会報告会・意見交換会を5月23日（土）に開催します。
詳細は市議会のホームページをご覧ください。



令和8年度議会報告会

検索

人事

固定資産評価審査委員会 委員
廣見 信夫（押野一丁目）

議会組織変更のお知らせ

- ◆ 副議長 小堀 孝史
- ◆ 議会運営委員会
- ◆ 副委員長 向田 誠市
- ◆ 総務産業常任委員会
- ◆ 委員 向田 誠市
- ◆ 教育福祉常任委員会
- ◆ 委員 小堀 孝史

6月定例会の予定 会期：6月8日(月)～29日(月) (22日間)

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|---------------------------|---|--|------------------------------|------------------------------|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 午前10時～ 本会議 開会 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 午前10時～ 本会議 一般質問 | 19 午前10時～ 本会議 一般質問 | 20 |
| 21 | 22 午前10時～ 予算決算常任委員会 | 23 午前10時～ 総務産業常任委員会 午後2時～ 教育福祉常任委員会 | 24 午前10時～ 議会改革特別委員会 午後2時～ 野々市中央公園拡張 整備事業に関する特 別委員会 | 25 午前10時～ 予算決算常任委員会 | 26 | 27 |
| 28 | 29 午後2時～ 本会議 閉会 | 30 | | | | |

本会議は誰でも予約なしで傍聴できます。お気軽に傍聴ください。
インターネットで本会議の様子を生中継しています。

